



2024年3月期第2四半期 決算概要について

日精樹脂工業株式会社
2023年11月24日

2024年3月期第2四半期 業績の概要

2024年3月期第2四半期 連結経営成績

単位:百万円 ()内前期比

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株 当 た り 純 利 益
2024年3月期 第2四半期	22,580 (△9.6%)	773 (△51.7%)	800 (△53.1%)	565 (△55.1%)	29.19円
2023年3月期 第2四半期	24,977 (20.0%)	1,601 (30.9%)	1,707 (42.4%)	1,259 (△20.5%)	64.56円

売上

・前期からの受注残の積み上がりや円安による効果がありましたが、材料価格の高騰や世界的な金融引き締め等を要因に、国内および海外での設備需要が低調だった等から、売上高は前年同四半期比9.6%減の225億8千万円となりました。

利益

・主力である射出成形機の需要が低調であったこと等から営業利益は7億7千3百万円(前年同四半期比51.7%減)、この結果、経常利益は8億円(同53.1%減)、四半期純利益は5億6千5百万円(同55.1%減)となった。

連結業績概要【前年同期比】

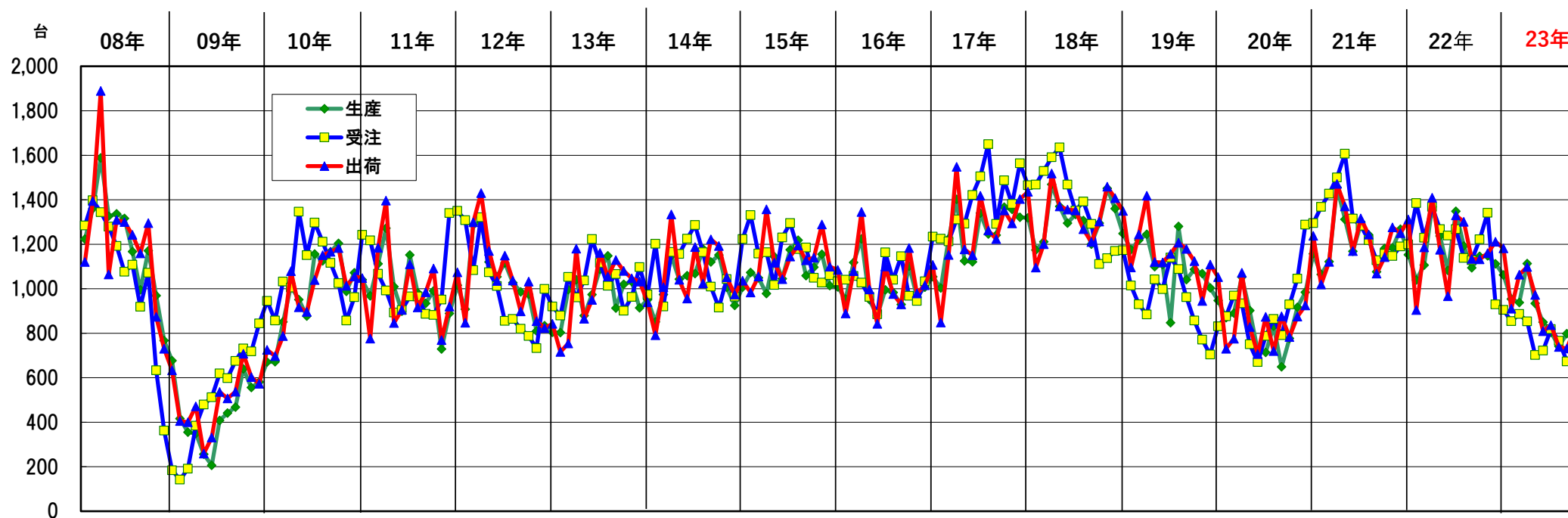
単位：百万円、比率%

	2023年3月期 第2四半期実績	2024年3月期 第2四半期実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	19,157	16,266	△2,892	△15.1
周辺機器	908	1,190	282	31.0
部品	3,858	4,078	219	5.7
金型・中古機等	1,052	1,045	△6	△0.7
売上高合計	24,977	22,580	△2,397	△9.6
売上総利益	8,129	7,263	△866	△10.7
一般管理販売費	6,527	6,490	△37	△0.6
営業利益	1,601	773	△828	△51.7
経常利益	1,707	800	△906	△53.1
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,259	565	△693	△55.1

射出成形機業界の動向

射出成形機 受注/生産/出荷の推移（全国 2008年からの推移）

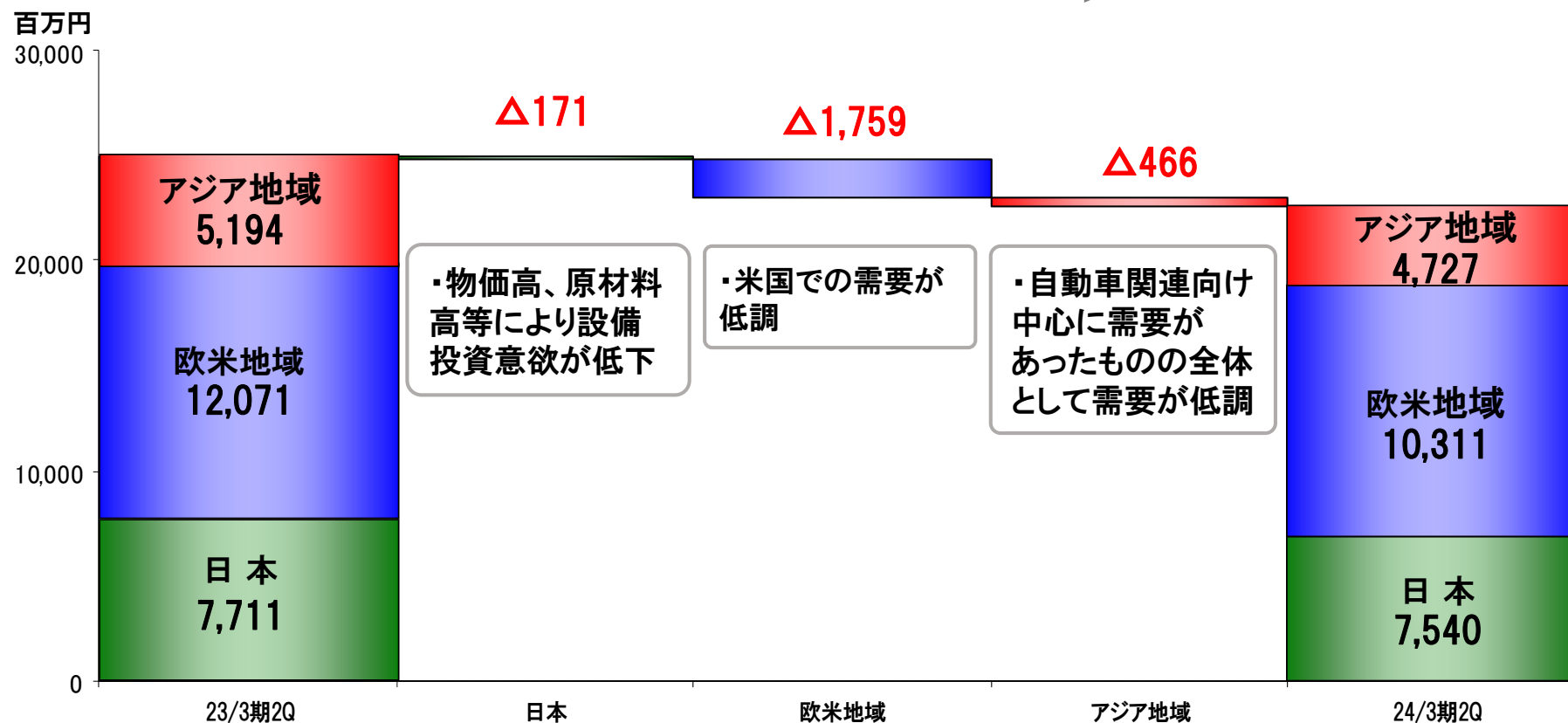
全国推移（国内生産分のみ）



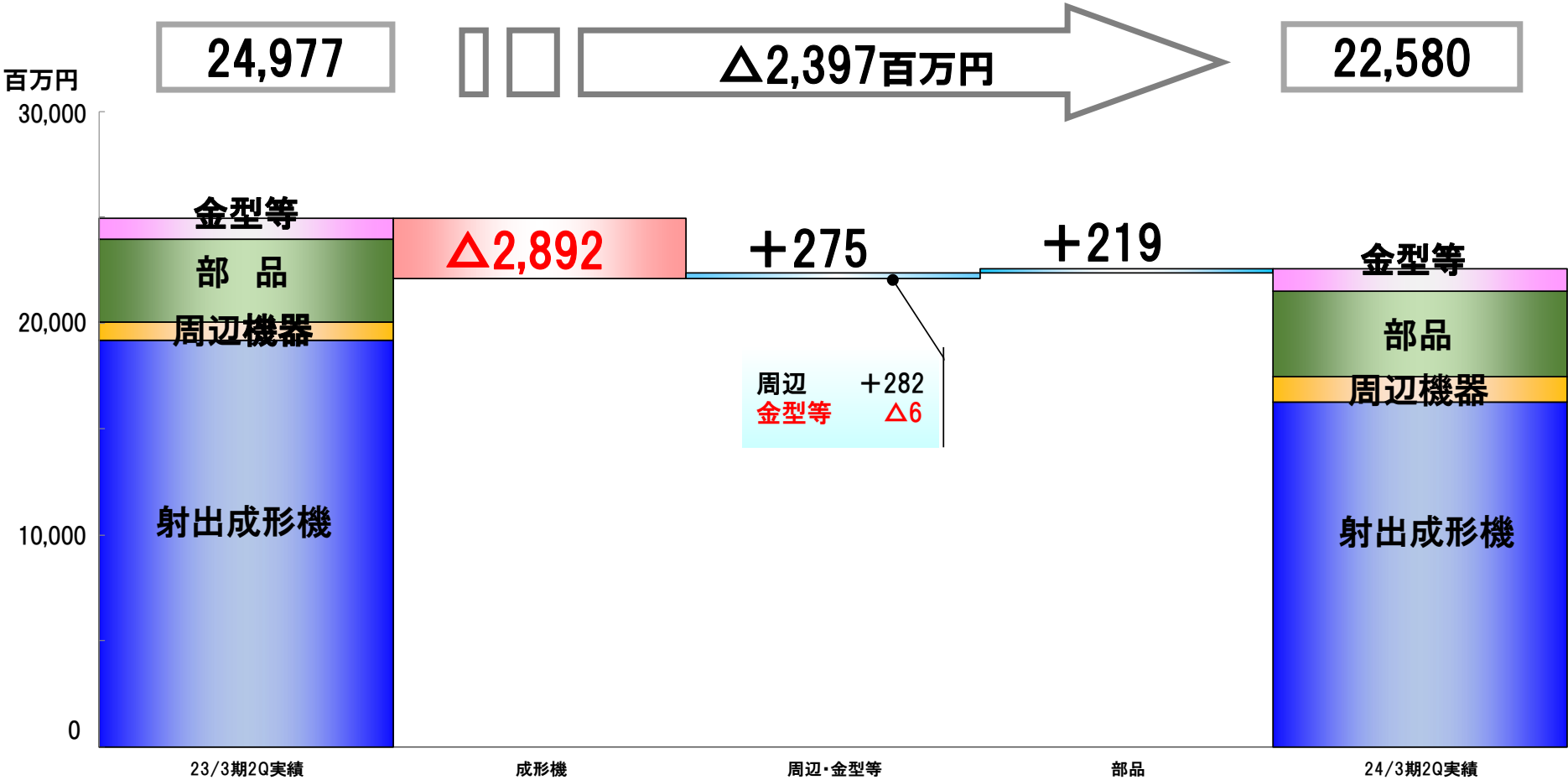
出所：日本プラスチック機械工業会 統計

連結売上高(セグメント別)増減 [2023/3期2Q⇒2024/3期2Q]

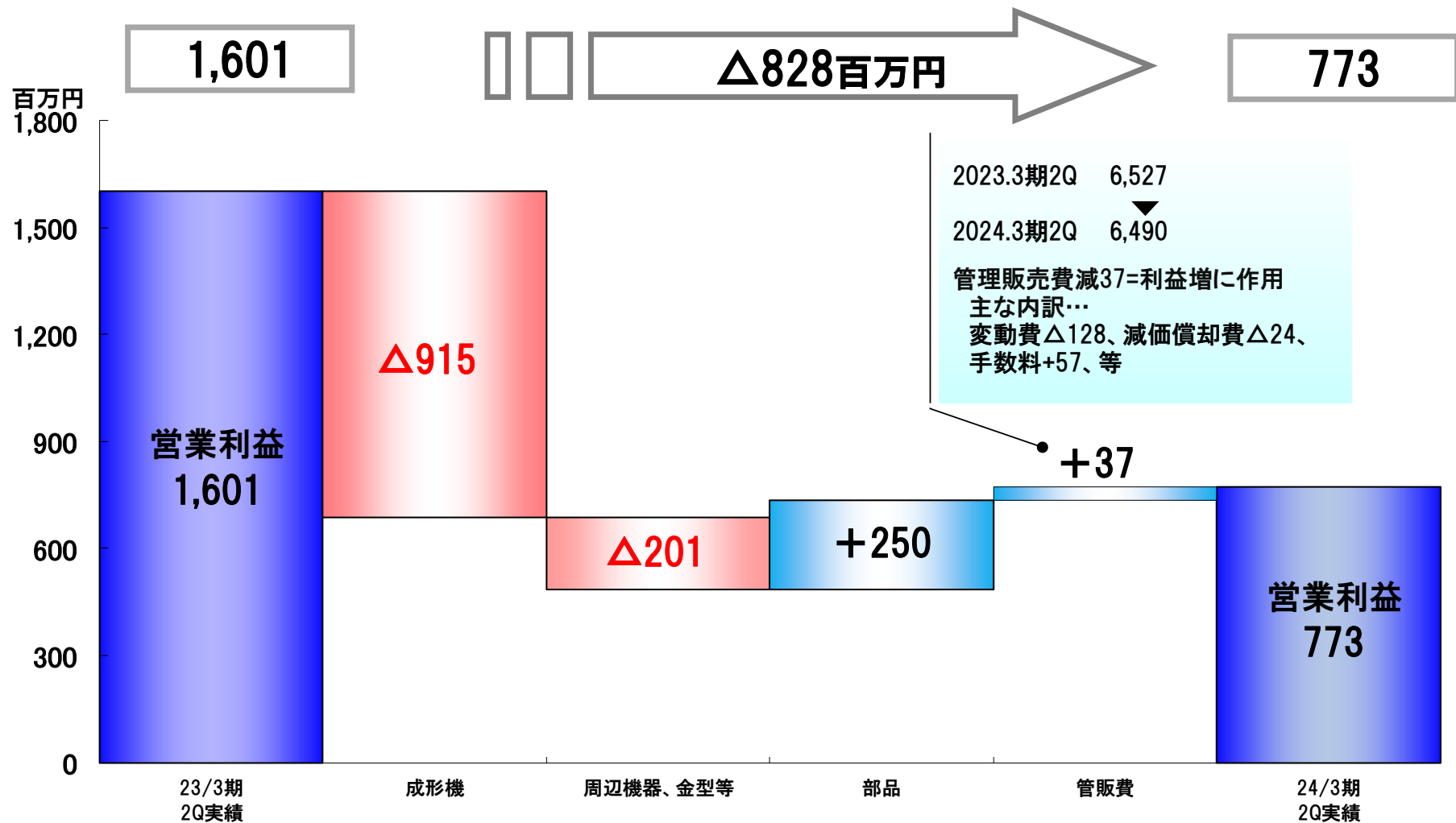
外部顧客への売上高の増減



連結売上高(製品別)増減 [2023/3期2Q⇒2024/3期2Q]



連結営業利益(製品別)増減 [2023/3期2Q⇒2024/3期2Q]



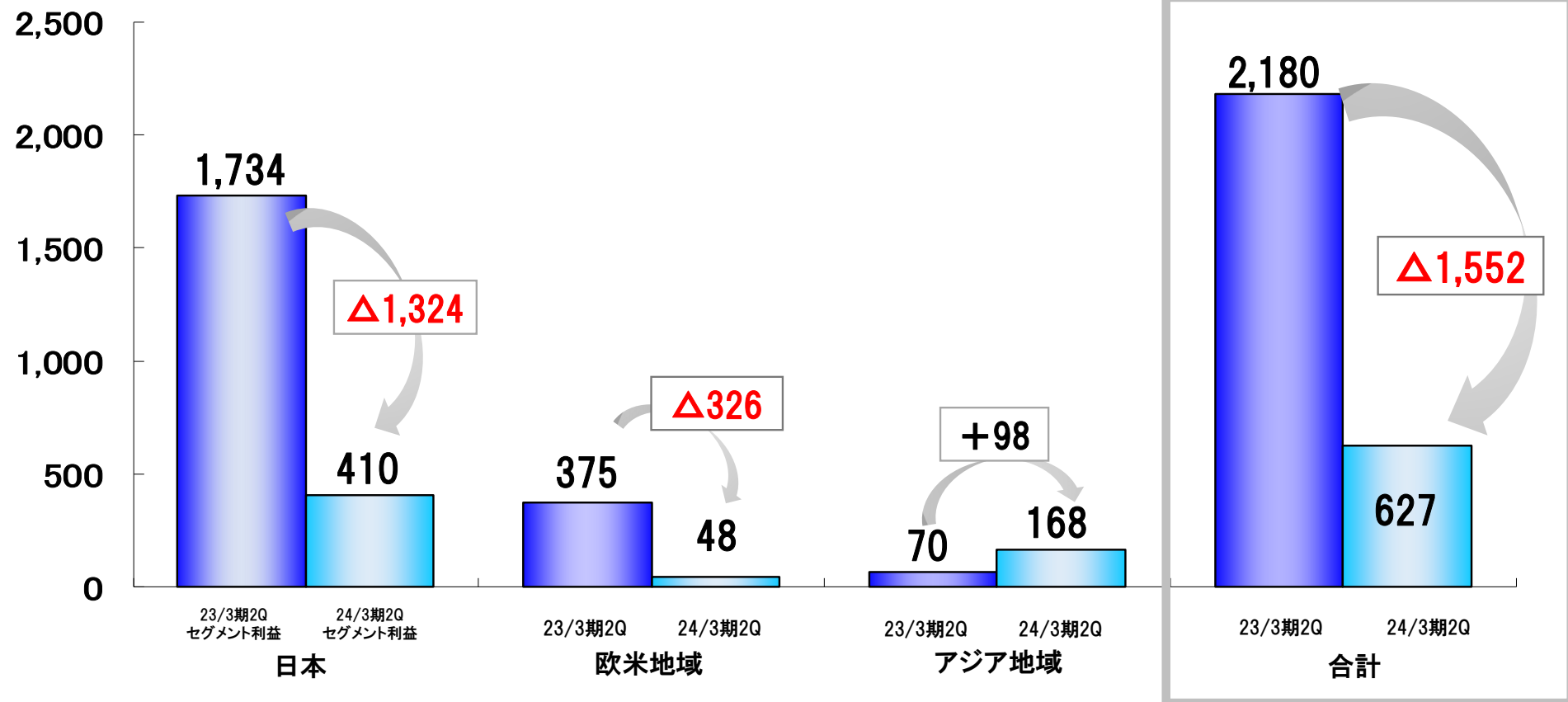
連結営業利益(セグメント別)増減 [2023/3期2Q⇒2024/3期2Q]

(セグメント間取引消去前)

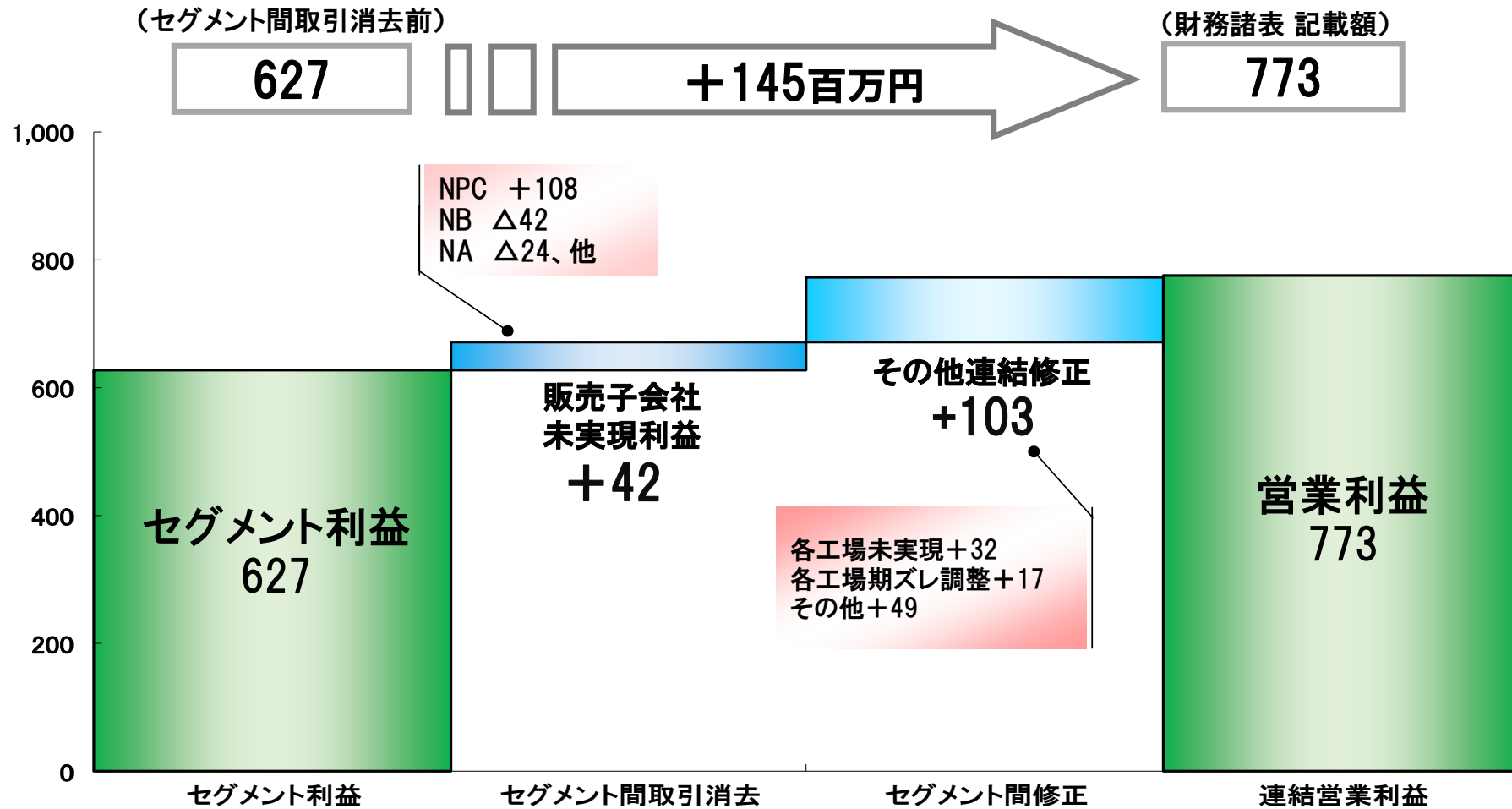
2,180

△1,552百万円

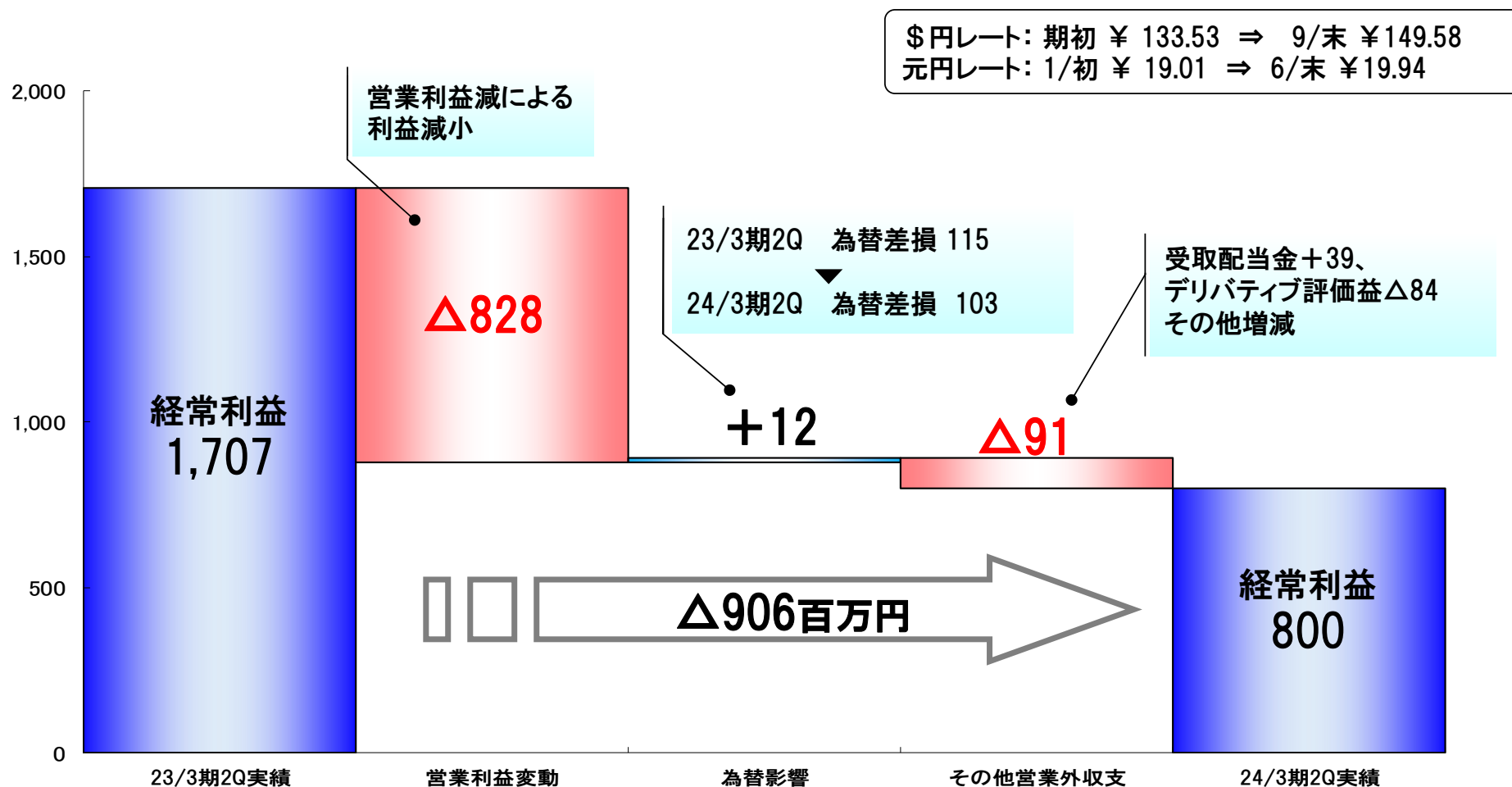
627



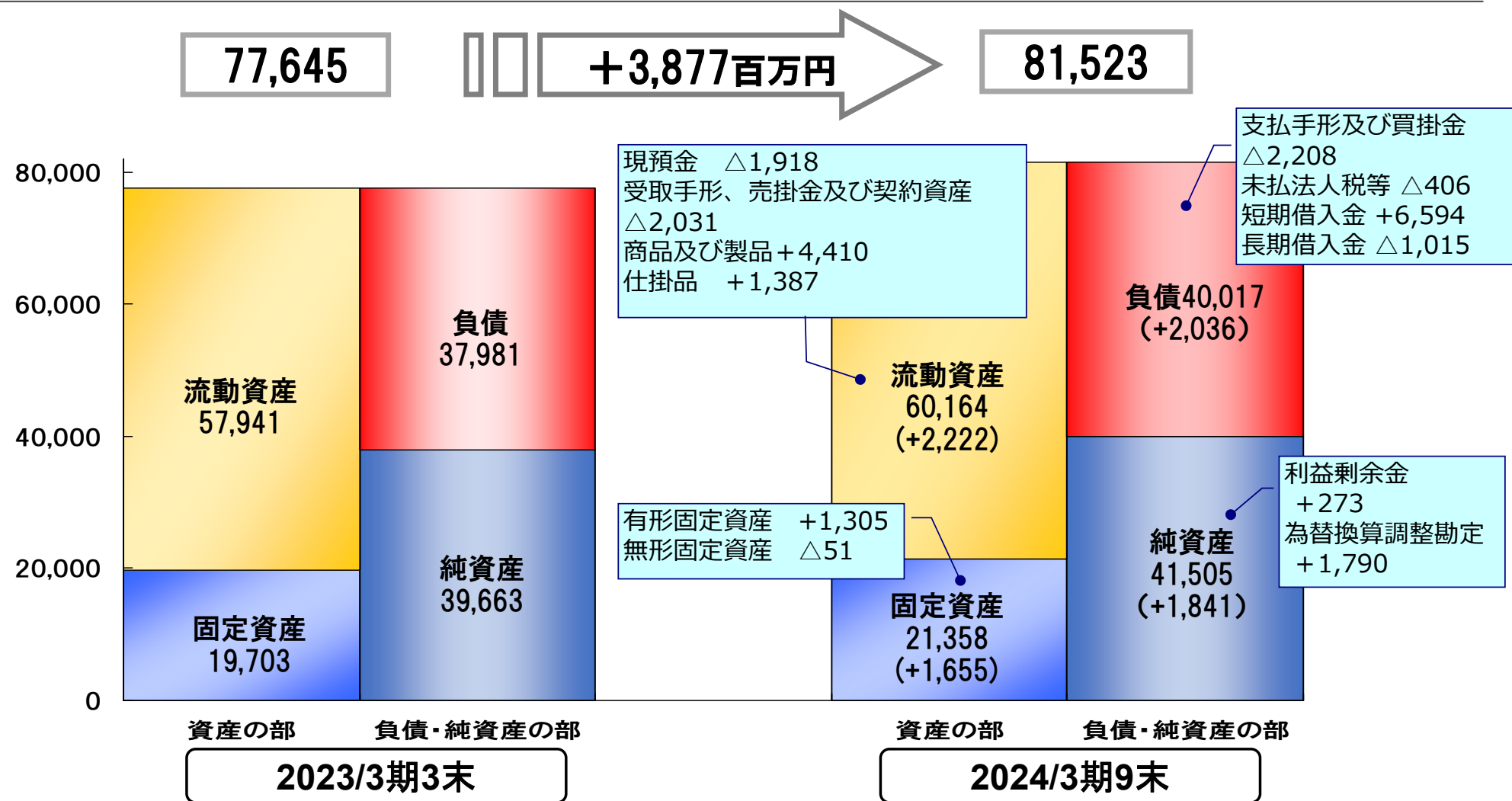
連結営業利益 ～セグメント間取引消去



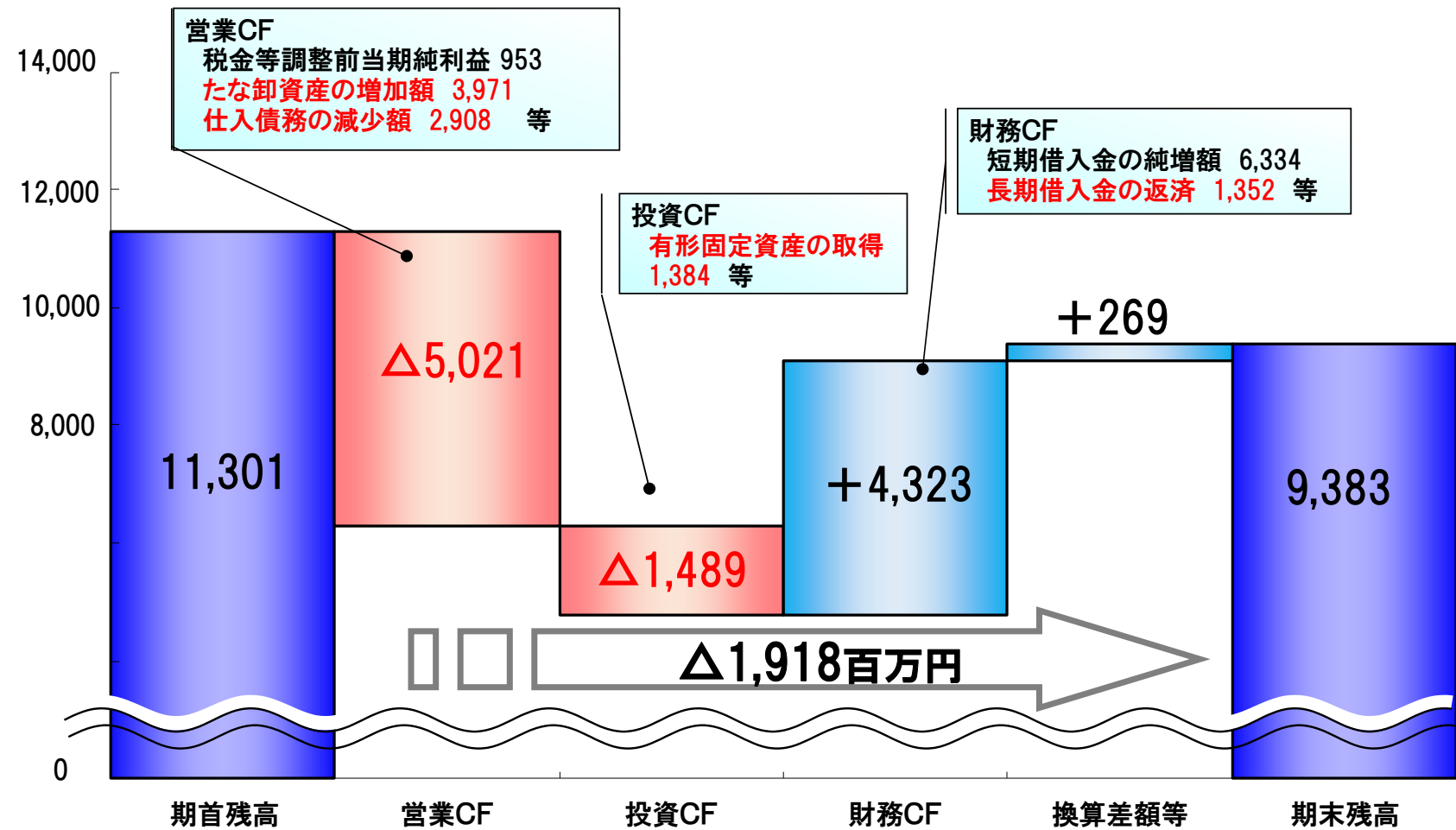
連結経常利益の増減 [2023/3期2Q⇒2024/3期2Q]



連結貸借対照表の増減 [2023/3期3末⇒2024/期9末]



連結キャッシュフロー ～現金及び現金同等物の増減～

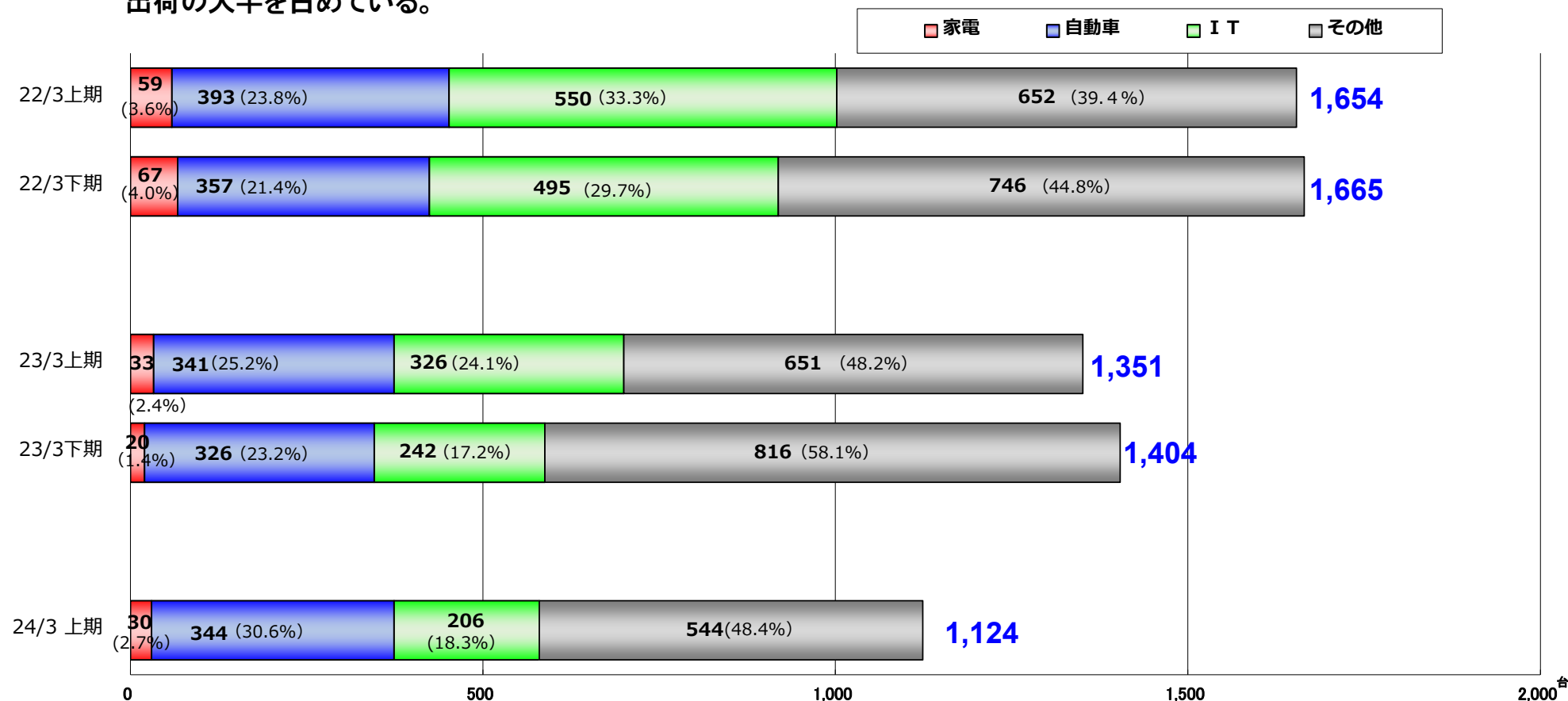


射出成形機の需要先別出荷台数推移 (当社)

自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、
出荷の大半を占めている。

2024/3期 上期

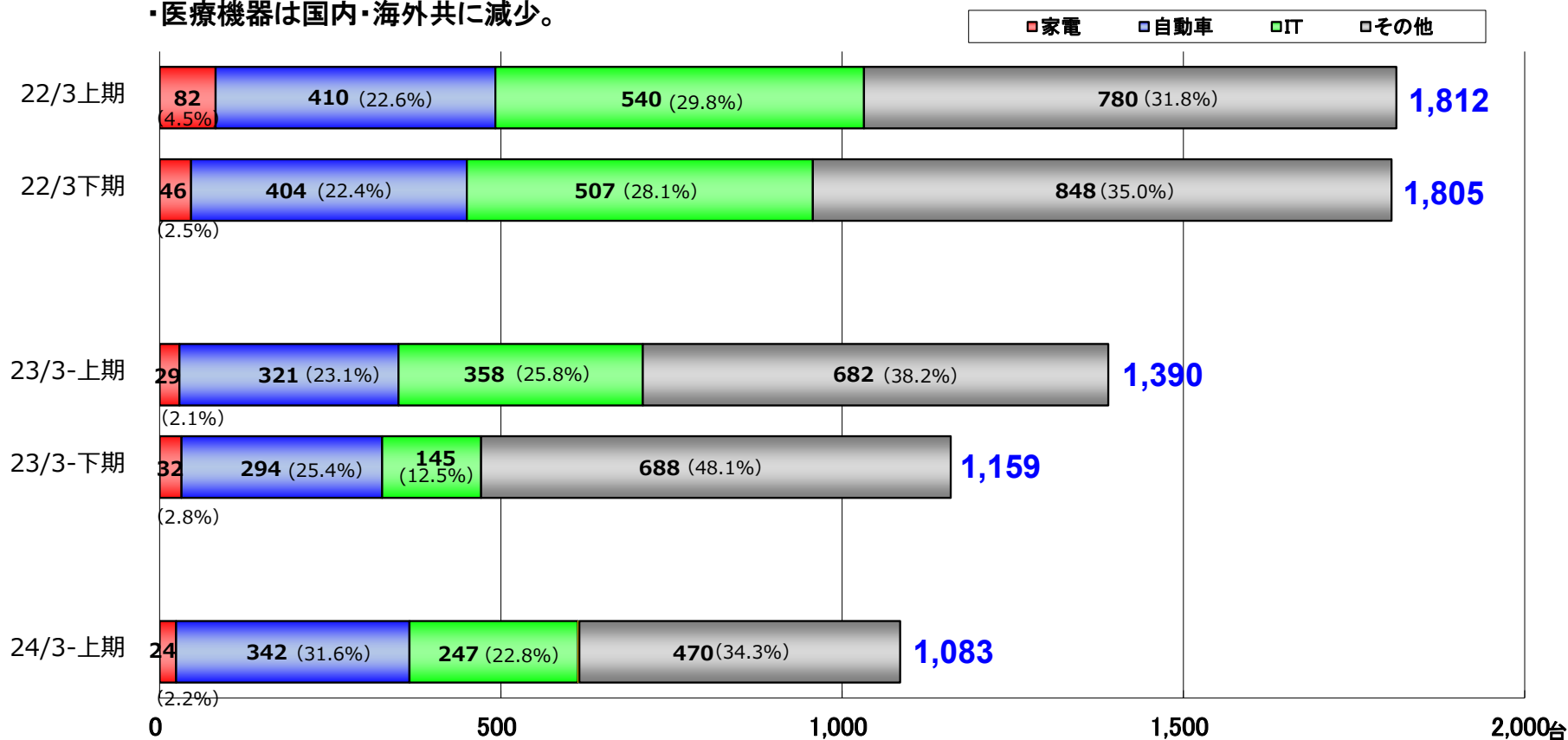
- 自動車…国内海外共に横ばい
- IT…東アジア中心に停滞
- 医療機器…国内海外共に減少



射出成形機の受注推移

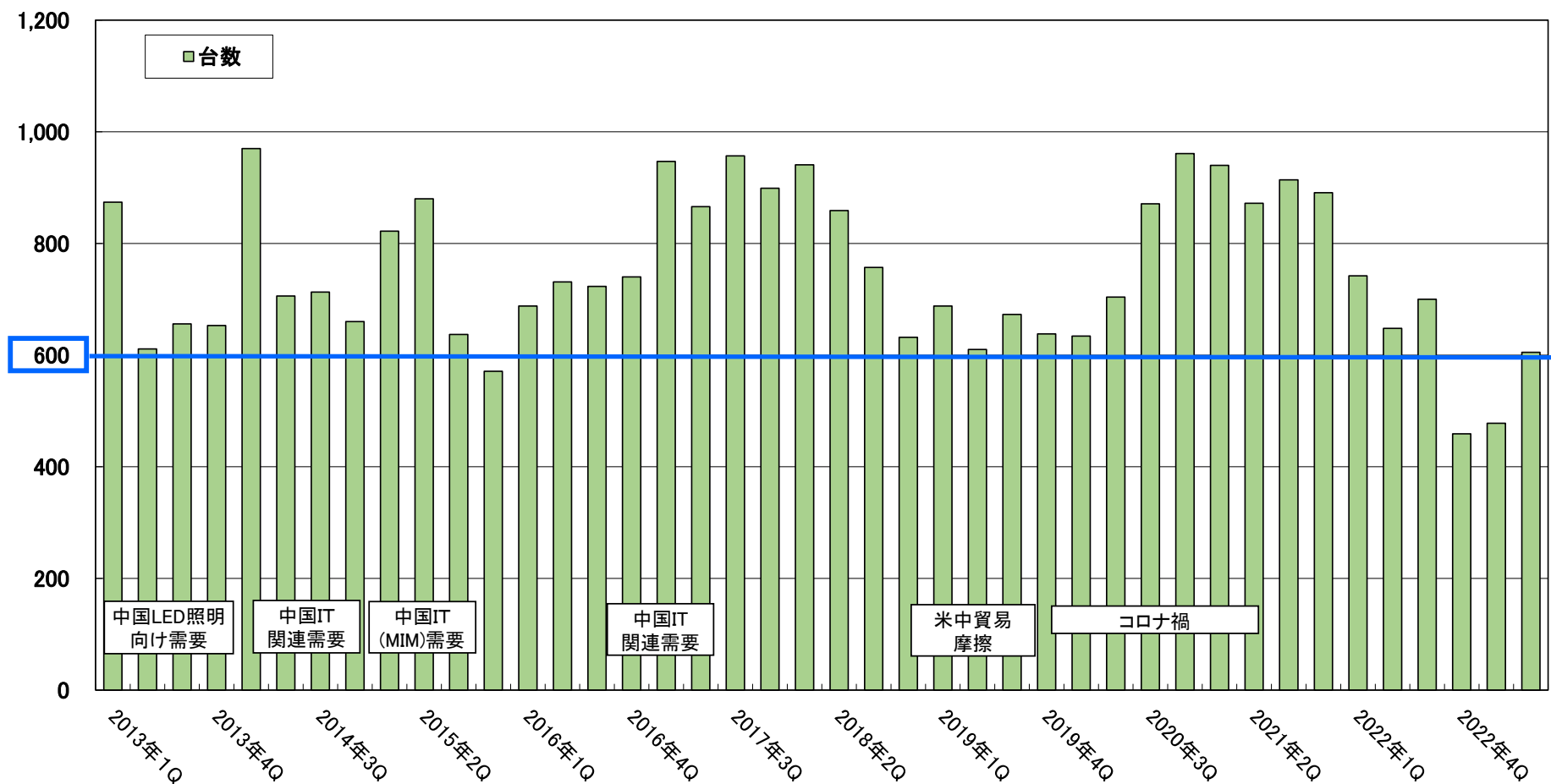
射出成形機の需要先別受注台数推移 (当社)

- ・24/3期上期の受注台数は1,083台。前年同期比22.1%減。
- ・自動車は国内緩やかに回復、海外横ばい。
- ・IT関連は東アジア向けを中心に緩やかに回復。
- ・医療機器は国内・海外共に減少。



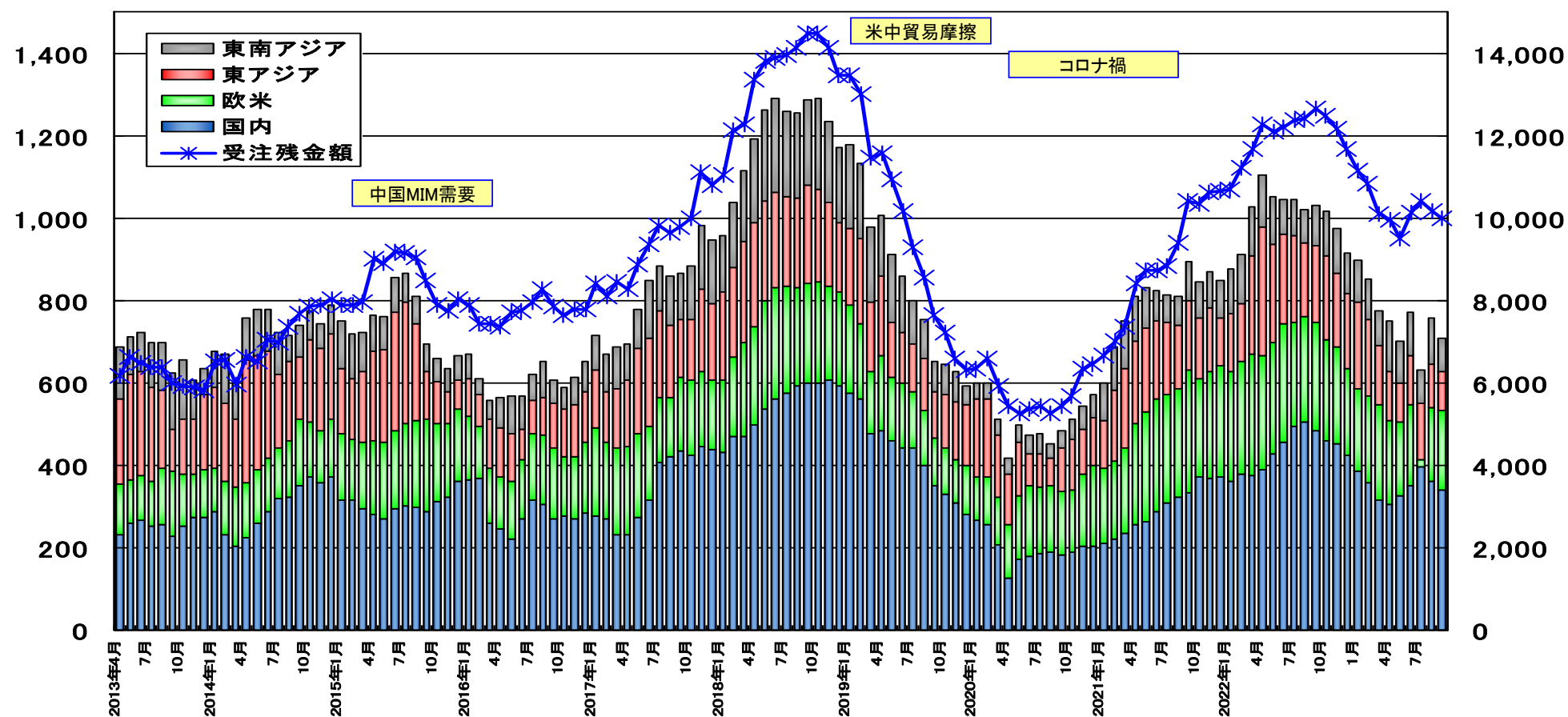
射出成形機の四半期別受注台数推移(当社)

欧米の利上げやエネルギー価格の上昇、中国の景気減速が不透明感に繋がっていることもあり需要に大きくブレーキがかかっている状態から、2023年に入り回復傾向に。直近2Qは月度受注200台前後の水準に回復。



射出成形機の地域別受注残台数推移(当社)

新型コロナの影響により減速した需要も2020年8月を境に増加に転じていたが、国内外で自動車関連の需要を中心に積み上がった受注残が徐々に出荷され、受注残台数、金額とも漸減傾向にある。



トピックス

展示会情報①

NISSEI RED EXHIBITION in 東海エリアを開催

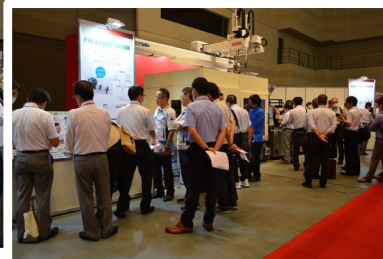
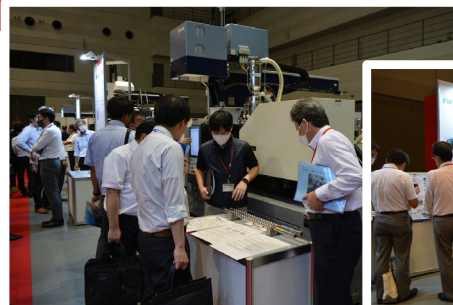
2023.8.2-8.4

(日精樹脂工業 × 住友ベークライト 共同開催)

東海地区の自動車関連産業のお客様を中心に、EV関連の金属代替や軽量化・樹脂化ニーズへの対応、
縦型インサート成形等、自動車関連部品向けのソリューション技術を提案



◎成形材料と成形機、成形品まで
プラスチック成形の川上から川下
までの一貫した展示実演を行い、
これまでになかったプライベート展
を開催しました。

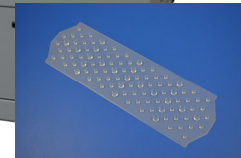


新ハイブリッド式高性能射出成形機
FWX760-130BKⅢ

▼インバーターカバー



液状シリコンゴム専用射出成形機
NEX180Ⅲ-5ELM



▲EVバッテリー
セル間スペーサ

展示会情報②

NISSEI RED EXHIBITION in 中国 を開催 2023.9.12-9.15



環境対応技術として木粉コンポジットPLAのカトラリーやPLA製のボトル成形を提案、さらに中国自動車産業への展開強化を狙いEVシフトへの対応技術や高機能材料を提案しました。

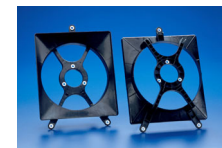
また、展示会と併せて工場内も見学していただき、中国市場へ安定供給が可能な当社の生産体制を理解していただきました。



▲木粉コンポジットPLAで成形をしたPLAカトラリー



▲FNX180Ⅲ-36A



▲シュラウド



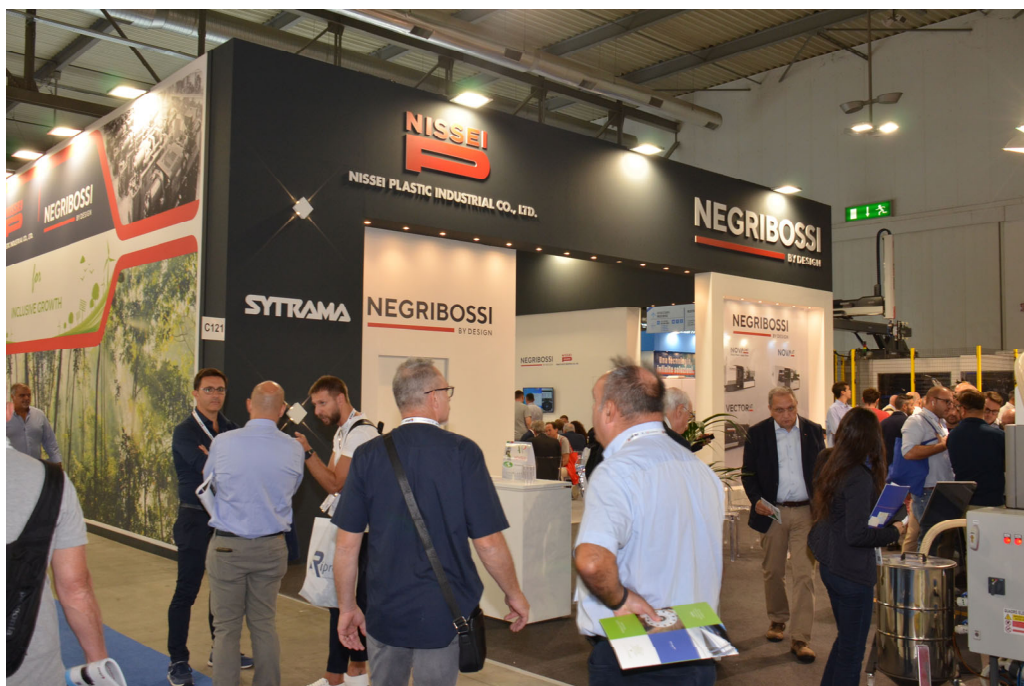
▲TWX220RⅢ25V

展示会情報③

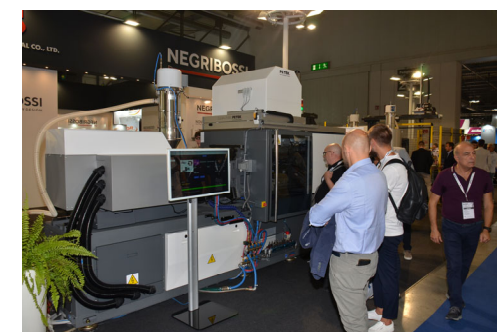
NEGRI BOSSI社がPLAST2023に出展 in ミラノ 2023.9.5-9.8



PLAST (International Exhibition for Plastics & Rubber Industries)
3年に1回開催されるイタリアを代表するプラスチックとゴムの展示
会で当社グループ会社であるNEGRI BOSSI社が出展



▲NOVAP1000



▲NOVA5e80T

5年ぶりの開催、コロナ明けということもあり、400人を超える大勢の方に来場していただき
射出成形技術の進化や環境対応技術をPRしました。

今後のスケジュール

IPF Japan 2023 国際プラスチックフェアに出展予定

〈会期〉 2023年11月28日～12月2日 5日間

〈会場〉 幕張メッセ（千葉県千葉市）

〈当社ブース〉 5号館 No. 52602

〈メインテーマ〉「Inclusive Growth – プラスチックの新しい価値を創造する」
（包括的成長）

〈実演概要〉 IoT 対応コントローラ搭載新型電気式射出成形機
NEX-V series によるバイオマテリアルを用いた
自動化・高付加価値成形のご提案

前回 IPF2017の当社ブースの様子 ▶
今年は6年ぶりの対面での開催





海と、里山の豊かさを守るために。

日精樹脂工業は、環境省が推進する“プラスチックとの賢い付き合い方”「プラスチック・スマート」構想に賛同し、海と、里山の豊かさを守るために、その実践と課題解決に向けた共創への一歩を踏み出しました。

IPF2023では、プラスチックと共に賢く生きる“プラスチック・スマート”を実践するため、植物由来生分解性樹脂や石油代替素材の普及に向けた取り組みを、「**バイオプラスチック**」と「**アップサイクル**」を共創キーワードとして展示、実演を行います。



バイオプラスチック

» プラスチックの新たな可能性に挑む
今後普及が見込まれる6種のバイオプラを一堂に

アップサイクル

» 技術と創意でプラスチックを賢くつかう
間伐材、古紙、廃プラの有効利用

2024年3月期計画について

経営方針

1. 真のグローバル経営の強化
2. グローバル市場への積極的展開による
営業強化
3. グローバル生産体制の強化
4. グローバルリスク管理体制の強化

2024年3月期 連結損益計画

単位：百万円、比率%

	上期実績					(期初)下期計画		
	1stQ	2ndQ	上期合計	通期計画 (‘23.5.12開示)	対通期計画 進捗率%	3rdQ	4thQ	下期合計
売上高	10,502	12,078	22,580	46,000	49.1%	12,300	12,700	25,000
営業利益	484	288	772	1,200	64.4%	350	450	800
(利益率)	4.6	2.4	3.4	2.6	—	2.8	3.5	3.2
経常利益	594	206	800	1,300	61.5%	350	450	800
(利益率)	5.6	1.7	3.5	2.8	—	2.8	3.5	3.2
当期純利益	496	69	565	900	62.8%	220	280	500
(利益率)	4.7	0.6	2.5	2.0	—	1.8	2.2	2.0

連結設備投資・研究開発計画と2Q実績

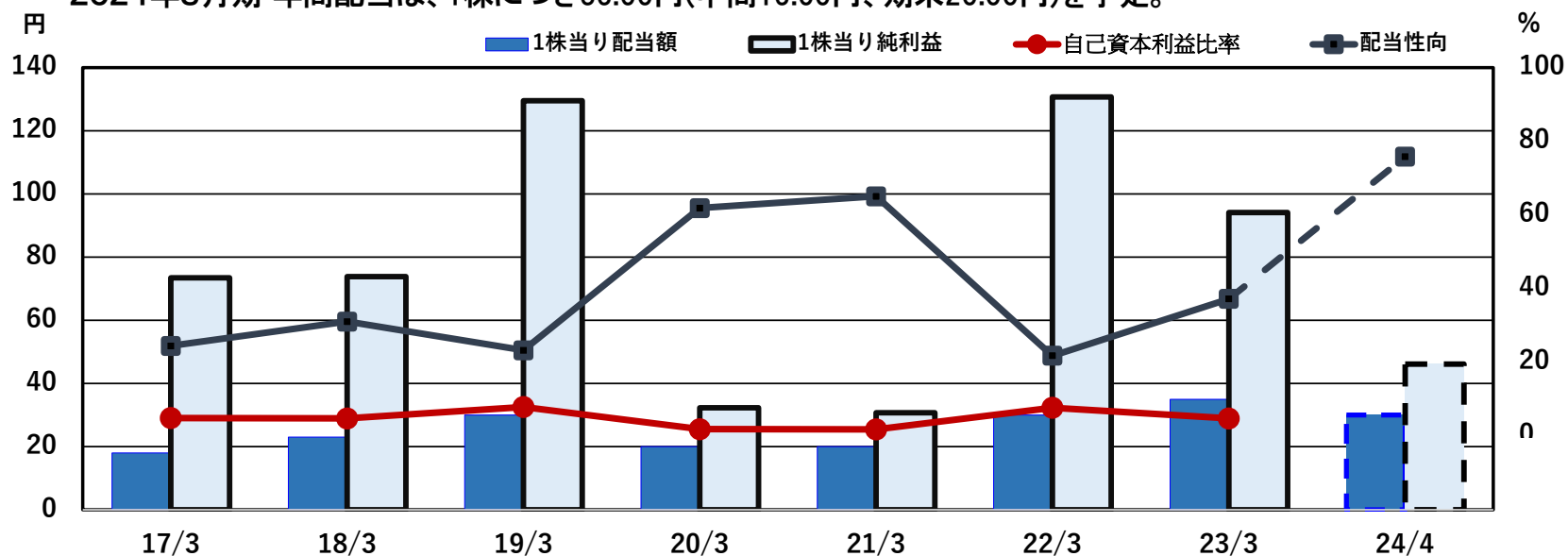
百万円

	2024年3月期 2Q実績
主な設備等	IFSシステム改造他、ソフトウェア(製造部門) 6 ホーニング盤増設(建設仮勘定) 20 第4工場天井照明LED化 19 米国工場増築工事費用(建設仮勘定) 175 海塩工場建設費用(建設仮勘定) 575 NPC、NB、車両運搬具 22 ホソマ設置、五面加工機レトロフィット工事 (建設仮勘定) 149 その他、維持投資等 170
設備投資総額	1,136
本社出資	中国第2工場(海塩工場)出資 1,300
減価償却費	698
研究開発費	238

配当について

年間配当金／配当性向(連結)の推移

・ 2024年3月期 年間配当は、1株につき35.00円(中間15.00円、期末20.00円)を予定。



	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期 (予想)
1株当たり純利益	73.85円	129.56円	32.30円	30.71円	137.43円	94.13円	46.15円(予)
1株当たり配当額	23.00円	30.00円	20.00円	20.00円	30.00円	35.00円	35.00円(予)
中間配当	13.00円	10.00円	15.00円	5.00円	15.00円	20.00円	15.00円
期末配当	10.00円	20.00円	5.00円	15.00円	15.00円	15.00円	20.00円(予)
配当性向	31.1%	23.2%	61.9%	65.1%	21.8%	37.2%	75.8%(予)
自己資本利益率	4.8%	7.9%	1.9%	1.8%	7.7%	4.8%	—



日精樹脂工業株式會社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
